

2 フォルトとレットの種類

フォルトの種類

次の37種ある。(注) S = シャトル R = ラケット

サービス関係	第13条第1項、第9条第1項
1 不当に遅らせた	[9-1-(1)]
2 境界線に触れた	[- (2)]
3 両足の一部がコート面に接していなかった	[- (3)]
4 サーバーが最初にSの台を打たなかった (羽根打ちサーブ)	[- (4)]
5 S全体がサーバーのウェストより下でなかった	[- (5)]
6 Rのヘッド及びシャフトが下向きでなかった	[- (6)]
7 Rの前方への動きが継続しなかった	[- (7)]
8 SがサーバーのRから上向きに飛行し、ネットの上を通り、レシーバーのサービスコートに落ちなかった	[- (8)]
9 Sの打ちそこない(空振りほか)	[- (9)]
10 サーバーのパートナーがレシーバーの視界をさえぎった	[9-5]
11 Sがネットの上に乗ったとき	13-2-(1)
12 Sがネットを越えた後、ネットにひっかかったとき	13-2-(2)
13 レシーバーのパートナーがシャトルを打った	13-2-(3)

一般共通

1 Sがコートの境界線の外に落ちた	13-3- (1)
2 Sがネットを通りぬげるか、下を通った	- (2)
3 Sがネットの上を越えなかった	- (3)
4 Sが天井または壁に触れた	- (4)
5 Sがプレーヤーの身体または着衣に触れた	- (5)
6 Sがコート外の物または人に触れた	- (6)
7 SがR上に捕らえられ保持されて、振り投げられた	- (7)
8 Sが同じプレーヤーによって2回連続して打たれた	- (8)
9 Sがパートナー同士で連続して打たれた	- (9)
10 Sがラケットに触れて、相手コートに向かって飛ばなかった	- (10)
11 R、身体、着衣がネットや支持物に触れた	13-4- (1)
12 ネットの上から相手コートを侵した	- (2)
13 RとSとの最初の接触点が打者側でなかった	- (2)
14 ネットの下から相手コートを侵して、相手を妨害したり、 注意をそらしたりした	- (3)
15 相手の正当なストロークを妨げた	- (4)
16 故意に相手の注意をそらした	- (5)
17 インタ - バルの違反	16-7- (2)

その他

第16条の違反行為がはなはだしい、繰り返す、継続してやめないとき、例えば	13-5
1 プレーを継続しなかった	[16-1]
2 体力や息切れを回復するための遅延行為	[16-4]
3 主審の許可なしにコートを離れた	[5-(2)]
4 プレーを故意に遅延、中断した	[16-6-(1)]
5 シャトルのスピードや飛び方を故意に変えた	[- (2)]
6 見苦しい服装、下品で無礼な態度、言動	[- (3)]
7 不品行または不快な行動	[- (4)]
ただし、1回めは警告 2回めはフォルト	[16-7-(1)]
また、なお続けた場合、失格させることができる	[- (2)]

レットの種類

次の7種ある。(注) S = シャトル R = ラケット

競技規則第14条関係

1 レシーバーの態勢が整う前にサーバーがサーブした	[14-1-(1)]
2 サービスのときレシーバーとサーバーの両方がフォルトをした	[- (2)]
3 Sがネットの上に乗った、またはネットを越えた後、ネットに	[- (3)]

ひっかかったとき(ただし、サービスのときは除く)

- 4 Sが分解してSの台が他の部分と完全に分離したとき [- (4)]
- 5 コーチによりプレーが中断されたり、相対するプレーヤーが
注意をそらされたりしたとき [- (5)]
- 6 線審が判定できなくて、主審も判定できないとき [- (6)]
- 7 不測な事態や突発的な事態がおこったとき [- (7)]

不測な事態や突発的な事態とは

- インプレーで、1 隣のコートからSが飛び込んできてプレーの妨げになったとき
- 2 地震、停電、雨漏りが起きたとき

【完】文責・龍井昇治